



地理的に恵まれた環境に位置している沼津

なんて感じて突っ走る(笑)。途中の議論も省略して、ゴールだけ見せて、「はい、行きなさい」といつころかありますからね。

市長 国際化していく社会の中で、競争に勝つためには、物事の本質を深く



愛鷹小学校にあるニュートンのりんごの木
ニュートンが「万有引力の法則」を発見するきっかけとなったと伝えられているりんごの木の枝を、平成元年に長倉さんの仲介で、東京大学付属植物園から譲り受け、接ぎ木したものです。

どでござるだけ子供たちの目を自然に向けさせよう、触れさせようという努力もしています。

市長 それは、ひとつ続けていってほしいですね。

市長 ところで、先生は大変お忙しいですが、息抜きなどは、どうしていらつしやるんですか。

市長 庭の手入れや、そう、観音竹やランの手入れをやっています。ときどき枯らしますけどね(笑)。

市長 きれいに咲くと花が見事なだけに、ランは大変でしょうね。

市長 大変ですが、自分で苦労して育てたランが、花を咲かせたときはうれしいですね。

市長 確か、バラか何かをつくられていた人が、花に「頑張ったね」など声をかけてあげると花のほうもそれに

応えて、いい花を咲かせたりするそうですね。

市長 私、声をかけませんが、少し弱っているなと感じたら、特にかわいがってやりますね。植物は、動物よりずっと微妙ですから。

市長 でも、そういう、ちょっとした変化にばつと気づかれるようなところは、先生の学問の世界に対する姿勢にも共通しているのではな

いでしょか。

市長 ある種の観察力と、それから対象に対する好奇心です。これは、共通していると思いますね。

市長 大きな仕事をするチャンスは、皆さん持っているんです。常に好奇心と問題意識を持って、チャンスを逃さないことが大事ですね。

市長 好奇心と問題意識ですね。ところで、植物といえば、先生にお力添えいただいた、愛鷹小学校のニュートンのりんごの木が、自然委員会の子供たちの世話で、だいぶ大きくなりました。実もついたので、子供たちは食べてみたそうですね。

市長 うれしいですね。この木については、柳沢出身の小野保さんに大変お世話になり、感謝しています。原種なので、実は小さいし、おいしくはない

考えることが大変必要なのです。また、産業自体も、今までの製造業を中心にしたものから、知的創造性を発揮するような産業が変わっていくと思えます。

市長 私は情報の問題はどうなるのかわかりませんが、将来は、その辺りを配慮した新しい産業がおこってくるでしょうね。

市長 自由な発想や大きな好奇心、そして豊かな創造力によって導き出される、新しい産業ですね。

市長 いずれにしても、大きな変化があるという点では、人を育てることが一番大事だと思いますね。変革の時代に対応できるのは、やはり人間の頭です。フレキシブルに先を見通してものと考えて、新しい創造性を発揮することが大切な時代になってくるでしょう。

市長 沼津で新しい教育システムを考えるなら、指導的な人材をつくる、創造性豊かな人間をつくる、この二つに焦点を絞った独特なシステムができればと思います。高等研究所を兼ねた大学院のようなものを作ってもいいかもしれませんね。

市長 沼津は、東京に近く、名古屋と東京の間に位置し、地理的にも恵まれた環境にあるので人材を集めやすいという利点があります。一種の世界の知的センターになるようなものをつくってもいいですね。

みたいですね(笑)。

市長 でも本当、こういうものに触れることによって、子供たちの世界がぐっと広がりますね。

市長 そのように思っていただければ大変ありがたいですね。

沼津の産業

根本的な本質を考え 特色を生かさそう

市長 科学技術など、日進月歩で進化していきますが、二十一世紀には、どのような産業がメインになるのでしょうか。

市長 これは、激しく変化していくと思います。ただ、二十世紀の科学技術の延長上で二十一世紀の科学技術は考えられないということはまず言えますね。

例えば、環境問題というのは、自然科学だけではもう解決できない。経済学あるいは社会学など、人間の意識を変えていかないと解決できなくなってきたと思います。人間としていかに生きるべきかを、もう少し考えて生活していかないと、なかなか科学技術だけ



様々な催しでにぎわう商店街

では解決できなくなってくるのです。

市長 沼津にも大きな会社がいくつかありますが、この転換期の中で、なかなか厳しい時代を迎えているようです。日本の産業を支えている製造業は、この先どのようなところに目を向けていったらいいのでしょうか。

市長 日本の製造業の特色をいかに生かすかが重要ですね。日本ではできないものが、まだいくつかあるのではないかと思っています。金型など、非常に精密なものは、日本のお家芸のように進めているものがありますよね。それぞれの産業は生き残るか個別に真剣に考える必要がありますね。

市長 「とにかく、もう、やるしかない」

市長 いっきに世界の知的センターとまでいきませんが、駅前の空きビルを使って、県立大学大学院のビジネス講座や、東海大学の公開講座などを産・学・官、一緒になって、取り組み始めたところなんです。まだまだ始めたばかりですので、効果はこれからということになりますが、今日のお話で大変参考になるものがありました。

沼津へのメッセージ 文化・教育都市として 発展をさせよう

市長 それでは最後に、これからの沼津市のために、先生からメッセージを

いただけませんか。

市長 八十歳を過ぎた現在でも、生まれ育った沼津は、私の心の故郷で、懐かしい思い出がいっぱいあります。秀麗な富士山と、緑の駿河湾に象徴される美しい豊かな自然の中で少年時代を過ごしたことを誇りに思い、それが心の大きな支えの一つとなっています。こうした沼津の自然が、これからも大切に守られていくことを願っています。

さらに申せば、恵まれた自然環境とともに、優れた作家を生んだ文学界を始め、文化の分野における伝統を生かすことができれば素晴らしいと思えます。

市長 今日、先生から多方面にわたる教育、手をつないでゴールに入るといふ教育ではなく、若い人の優れた能力をどんどん伸ばす教育をしなければいけませんね。

市長 今日、先生から多方面にわたる教育、手をつないでゴールに入るといふ教育ではなく、若い人の優れた能力をどんどん伸ばす教育をしなければいけませんね。



静岡県立大学大学院のビジネス講座